

科目区分	専門教育科目	科目名	社会的養護内容	科目コード	50416	担当者	島田幸一郎	
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	選択	
						免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合		
児童福祉施設における処遇の実際の内容を理解する。						定期試験 (60%) 提出物 (15%) 発表内容 (15%) 受講態度 (10%)		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	援助内容を理解し、保育者としての取り組みの姿勢や方法を身につける。					○	○	
2.	個々に応じて適切に対応することの必要性を理解する。					○	○	
3.	個別や集団における支援の意義・目的を理解して、子どもに対する援助方法を身につける。						○	○
4.	具体的職務内容を理解して、子どもと共に学び続ける姿勢の大切さを理解する。					○		○
授業方法								
社会的養護の理念や体系を理解した上での演習となる。施設実習を念頭におき、施設関連の視聴覚教材の活用や事前調査また実習後の報告発表・質疑応答などにより、学生主体の実践的な授業内容としたい。								
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)								
社会的養護における支援の実際が、本科目の内容となる。施設実習に必要な不可欠の内容であるため、日頃から子どもの権利について注意を払ってほしい。また、日常的な言動や個人情報の管理等についても意識しておく必要がある。								
授業計画								
第1回	オリエンテーション							
第2回	措置制度と児童福祉サービス利用の仕組み							
第3回	社会的養護に関わる人々と資格							
第4回	社会的養護実践の枠組み							
第5回	自立支援計画の作成							
第6回	社会的養護とケアマネジメント							
第7回	児童福祉サービスの利用 (知的障害)							
第8回	児童福祉サービスの利用 (身体障害)							
第9回	児童福祉サービスの利用 (発達障害)							
第10回	社会的養護の実践 (乳児院)							
第11回	社会的擁護の実践 (児童養護施設)							
第12回	社会的養護の実践 (重症心身障害児施設・身体障害児施設等)							
第13回	社会的養護の実践 (知的障害児施設・知的障害児通園施設等)							
第14回	虐待を受けている子どもの養護							
第15回	社会的養護の意義 (まとめ)							
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
『よくわかる社会的養護』 (山縣文治・林浩康編) *社会的養護と共用					虐待や障害など様々な理由により施設で生活する子どもたちがいます。社会的養護の理念は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」です。保育者として、子どもたちとどう向き合うべきかを是非考えてみてください。			